

# いしこし 3づくり 計画書



～人が集まる丘のまち「いしこし」を創ろう～

平成 26 年 3 月

石越コミュニティ運営協議会

(石越地区地域づくり計画策定委員会)

# 【 目 次 】

## 《 計 画 編 》

◆第1章◆ 石越地区の現状と課題……………	1
1 計画の目的	
2 現状	
3 課題	
◆第2章◆ 地域づくりの基本理念……………	2
1 目指す将来像	
2 キャッチフレーズ	
◆第3章◆ 地域づくりの取り組み……………	3
1 3づくり計画書の体系図	
2 取り組む内容	
◇まずは いしこしを守る『人づくり』	
◇つぎに いしこしを愛する『環境づくり』	
◇そして いしこしを楽しむ『ゆとりづくり』	
◆あとながき◆……………	7

## 《 資 料 編 》

資料① 住民アンケートの概要……………	8
資料② 策定作業の経過……………	10
資料③ 策定作業の協力者名簿……………	15



# ◆第1章◆ 石越地区の現状と課題

## 1 計画の目的

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など社会環境が変化  
する中で、地域を取り巻く課題は複雑・多様化しています。

このような中、私たち地域住民が主体となって地域の将来像を考え行動することで、  
住み良い地域を創っていくことが重要です。登米市では、平成24年4月に「登米市  
まちづくり基本条例」を制定し、地域づくり計画の策定を推進しています。そこで、  
石越コミュニティ運営協議会では、住民と行政が同じ目標に向かって進むことを目的  
に「石越地区地域づくり計画策定委員会」を組織し地域づくり計画の策定に取り組み  
ました。

石越地区地域づくり計画は、石越地区の10年後の将来像に向けた地域づくりの基  
本指針となるものです。計画では、平成26年度を初年度として5カ年(H26.4~H31.3)  
で取り組む方向性をまとめています。

今後は、地域づくり計画に掲載された取り組みの中から、優先順位や重要度をさら  
に協議し、具体的な個別計画に基づき事業展開しながら、地域の課題解決や活性化に  
つなげていきます。



## 2 現状

### (1) 人口の変化

石越地区は、平成17年4月の9町合併時、人口5,944人の町でした。しかし、平成22年の国勢調査では、5,475人と人口減少が進みました。この傾向は、今後さらに加速すると考えられます。

石越の人口推移

年号	人口	増減
平成2年	6,804人	△133
平成7年	6,713人	△91
平成12年	6,438人	△275
平成17年	5,944人	△494
平成22年	5,475人	△469

### (2) 運営の変化

平成25年4月には石越公民館の運営管理が指定管理者となり、石越コミュニティ運営協議会が運営主体となりました。これにより、事業の運営方法や取り組む内容に住民の声が届きやすくなりました。その結果、地域の声を活かした石越地域ならではの創意工夫した事業が展開されています。

コミュニティ活動の拠点となる石越公民館を有効活用するためにも、今後の進むべき指針となる地域づくり計画は不可欠なものです。

## 3 課題

住民アンケートの回答によると、様々な社会環境の変化に伴い、防災、防犯、福祉、教育、環境などの多様な地域課題への対応が望まれています。これまでの行政による公平・均一なサービスの提供に加え、市民や市民活動団体等が地域の特性や課題に応じた取り組みを活発に行うなど、地域課題に対する地域コミュニティの対応が期待されています。

このような地域課題に住民が主体的に取り組む力が「地域力」です。これからの地域社会では、この「地域力」の重要性が改めて認識されつつあります。そのことから、いかに「地域力」を備え高めていくかが地域づくりの課題と言えます。

## ◆第2章◆ 地域づくりの基本理念

### 1 目指す将来像

私たちは、地域づくりを進めるにあたり、安全で安心な生活ができることが重要であり、すべての活動の源である活力を掲げ目指す将来像を次のとおりとしました。

**安全安心で活力あるまち「いしこし」**

### 2 キャッチフレーズ

私たちは、多くの人々が行き交うにぎわいを、今後の事業展開によって取り戻すことを願い次のキャッチフレーズを設定いたしました。

**～人が集まる丘のまち「いしこし」を創ろう～**

## ◆第3章◆ 地域づくりの取り組み

### 1 3づくり計画書の体系図



## 目指す将来像 安全安心で活力あるまち「いしこし」



### まずは いしこしを守る『人づくり』(詳しくは、P4に掲載)

#### 方向性：子どもたちと交流しよう

- 【活動例】 ・体験活動の充実 ・町民体育祭への小中学生の参加 ・高齢者との交流  
・小中学生スポーツ大会への支援 ・小中学生対象のグラウンドゴルフ大会

#### 方向性：若い担い手を育てよう

- 【活動例】 ・婚活の支援 ・世代間交流事業の実施 ・青年活動の充実 ・多様な人材の発掘

#### 方向性：高齢者の生きがいをつくろう

- 【活動例】 ・敬老会の開催方法を検討 ・見守りや宅配弁当の実施  
・昔遊びや昔話の継承 ・集会所でのミニデイサービス  
・ボランティアの育成と活用



### つぎに いしこしを愛する『環境づくり』(詳しくは、P5に掲載)

#### 方向性：マナーアップでゴミをなくしてきれいなまちにしよう

- 【活動例】 ・衛生リーダー活動の充実 ・不用品のフリーマーケット  
・ペット、リサイクルごみ、野焼きのルール徹底  
・道路等へのポイ捨て禁止の周知

#### 方向性：①雑草をなくして安全な道路にしよう

#### ②魅力ある里山をつくろう

- 【活動例】 ・日本型直接支払制度(旧農地・水保全管理支払交付金)の全町実施への推進  
・探索コースづくりと整備 ・土手や道路等の刈り払いの実施  
・たけのこや柿などを活用した里山づくり  
・フィールド・アスレチック<sup>※1</sup>の検討 ・森林資源の地図づくり



### そして いしこしを楽しむ『ゆとりづくり』(詳しくは、P6に掲載)

#### 方向性：チャチャワールドや公園で楽しもう

- 【活動例】 ・桜やあじさいの名所づくり ・遊具等の施設点検 ・グリーンツーリズム<sup>※2</sup>の推進  
・公園等の地図づくり ・清掃活動の実施、ゴミ箱の設置  
・パークゴルフ場の開設(誘致)

#### 方向性：お祭りや伝統文化を盛り上げよう

- 【活動例】 ・盆踊り大会の実施 ・住民総参加型のお祭り ・冬の花火の新企画  
・史跡案内表示の改修 ・史跡の地図づくり ・地域の宝探し  
・伝統文化の記録化 ・石越音頭の活用

用語解説 <sup>※1</sup> 山野・森林などの自然を利用し、途中に遊具をおいてつくったコースで行う野外運動の一種  
<sup>※2</sup> 緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動

## 2 取り組む内容

石越地区地域づくり計画策定委員会では、現状を把握するため住民の皆さんからのご意見（声）をいただきたいと考え、すべての世帯を対象に行政区長を通じた住民アンケートを実施いたしました。※結果は資料編（P8）参照

いただいたご意見は、本計画のなかに盛り込むため策定委員によって分野毎に整理し、「いしこし3づくり計画書」の基礎資料といたしました。

今後は、活動例の取り組みのなかから、自己資金や各種補助金等による財源の確保に努め、関係団体や行政と協議を重ね、できるところから連携あるいは協働しながら事業展開を進めていくものです。

### ◇まずは いしこしを守る『人づくり』



#### 方向性：子どもたちと交流しよう

**考え方** 子どもたちの成長には、家庭や学校での学びのほか、自然のなかや地域の人々との世代間交流など様々な経験が大切だと考えました。

そのため、子どもたちは「未来の宝」として地域コミュニティのなかでも、積極的に巻き込んで交流の機会を創りましょう。

**活動例** ・体験活動の充実 ・町民体育祭への小中学生の参加 ・高齢者との交流  
・小中学生スポーツ大会への支援 ・小中学生対象のグラウンドゴルフ大会

#### 方向性：若い担い手を育てよう

**考え方** 「地域づくりは人づくり」と言われます。将来像に近づくためには、より多くの次世代の担い手の育成や人材の発掘が特に重要です。

自然に表れるのを待つのではなく、育成事業に積極的に取り組みながら時間をかけて、石越の地域全体で支えるような土壌づくりを行います。

**活動例** ・婚活の支援 ・世代間交流事業の実施 ・青年活動の充実  
・多様な人材の発掘

#### 方向性：高齢者の生きがいをつくろう

**考え方** 全国的に高齢化が進み、独居老人の孤独死などの社会問題が発生しています。石越地域ならではの「きづな」を活かした心の通う事業を展開することで、毎日がハツラツとした生きがいのある暮らしになると考えました。

**活動例** ・敬老会の開催方法を検討 ・見守りや宅配弁当の実施 ・昔遊びや昔話の継承 ・集会所でのミニデイサービス ・ボランティアの育成と活用

## ◇つぎに いしこしを愛する『環境づくり』



### 方向性：マナーアップでゴミをなくしてきれいなまちにしよう

**考え方** アンケートでは、日々の生活に関する意見が多く出されました。きれいなまちづくりのためには、道路脇のポイ捨てや草刈りなどによる道路環境の向上やゴミの出し方やペットの飼い主のマナー向上への取り組みが大切です。石越に住む一人ひとりが、日々気持ちのいい生活を送るため、資源を有効活用し、身の回りの生活環境から改善し全域に広めていく必要があります。



- 活動例**
- ・衛生リーダー活動の充実
  - ・不用品のフリーマーケット
  - ・ペット、リサイクルごみ、野焼きのルール徹底
  - ・道路等へのポイ捨て禁止の周知

### 方向性：①雑草をなくして安全な道路にしよう

**考え方** 交通安全や環境美化の観点からも、道路脇の刈り払いや土手の外来種の雑草（セイタカアワダチソウ）駆除の要望が多くあり、取り組みの必要性があります。

また、道路環境が整備され、きれいに管理されている地域では、犯罪が発生しにくいなど防犯上の面からも効果が期待できると考えました。

### ②魅力ある里山をつくろう

石越地域には、豊かな自然があり魅力のひとつであります。この魅力を活かした取り組みが、石越の特性を活かしたオリジナル事業となります。

石越らしさが盛り込まれた事業を展開することで地域活性化を図ります。



- 活動例**
- ・日本型直接支払制度（旧農地・水保全管理支払交付金）の全町実施への推進
  - ・探索コースづくりと整備
  - ・土手や道路等の刈り払いの実施
  - ・たけのこや柿などを活用した里山づくり
  - ・フィールドアスレチックの検討
  - ・森林資源の地図づくり



## ◇そして いしこしを楽しむ『ゆとりづくり』



### 方向性：チャチャワールドや公園で楽しもう

**考え方** チャチャワールドに関する意見では、オープン当時のにぎわいをもう一度取り戻したいとの思いが強く感じられました。

石越の誇れる観光名所とするためには、運営者と地域で協力して盛り上げることが大切であると考え、連携した取り組みを検討していきます。

また、公園を憩いの場として有効活用していくことが期待されていることから、身近にある公園を「ゆとり」や「やすらぎ」を感じる空間として創造して行きます。



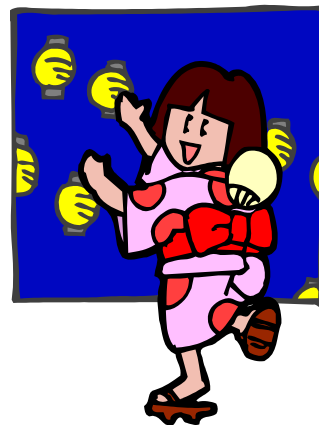
- 活動例**
- ・桜やあじさいの名所づくり
  - ・遊具等の施設点検
  - ・グリーンツーリズムの推進
  - ・公園等の地図づくり
  - ・清掃活動の実施、ゴミ箱の設置
  - ・パークゴルフ場の開設（誘致）

### 方向性：お祭りや伝統文化を盛り上げよう

**考え方** 石越地域には、数多くの有形無形の文化財のほか、どんと祭と冬の花火などの行事があります。私達には、先人たちが残した貴重な財産や地域を愛する想いを次の世代に引き継いでいく責任があります。

これまで磨いてきたところは、さらに発展させ地域全体の財産として認知度を高めて行きます。

- 活動例**
- ・盆踊り大会の実施
  - ・住民総参加型のお祭り
  - ・冬の花火の新企画
  - ・史跡案内表示の改修
  - ・史跡の地図づくり
  - ・地域の宝探し
  - ・伝統文化の記録化
  - ・石越音頭の活用



## ～石越地域づくり計画の策定作業を終えて～

陽春の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、コミュニティ運営協議会に対しご理解とご協力を賜り感謝いたしております。

私たちが公民館の指定管理を受託し運営に携わって1年を経過しようとしています。この間、様々な事業を展開するなか、市から「登米市まちづくり基本条例」の発展的事業として石越の「地域づくり計画」を策定する案が提起されました。私たちはそれを今日的喫緊の要事と認識し昨年8月から策定作業に取り組んできたところです。

策定にあたって、住民の皆様方へのアンケート調査のお願いやその回答の作業部会による分析、得られた資料を基に策定委員会での検討をかなり過密スケジュールのなかで進めてきました。そして、大事にしてきたことはワークショップによって参加者の多様な意見を保障してきたことです。その一例として、最終の策定会議では第2章1、目指す将来像の素案は～安全安心できれいなふるさと「いしこし」～の傍点の部分に異論が出て、その部分を活力あるまちに修正した経緯があります。

さて、「いしこし3づくり計画書」はそれぞれの活動内容は示していますがそれを具体化するプロセスは今後の課題です。幸いなことに平成26年度から予算の裏づけができたと聞き及んでいます。従って、手順は、事業の優先順位を決め行動に移すことです。

決して「画餅に帰す」ことのないように、そして「自分達の地域は、自分達で創る！」を心意気に住民の皆様方と共に歩む覚悟であります。

最後に、作業にご協力いただいた住民の皆さん、スタッフの皆さん、アドバイザーの足立さん、そして市担当職員の皆様方に深甚なる感謝の意を表し石越地区地域づくり計画(通称：いしこし3づくり計画書)の策定作業を終えての挨拶といたします。

平成26年3月

石越コミュニティ運営協議会 会長 鈴木 亮





1 調査の目的

この調査は、地域づくり計画の策定を進めるに当たり、広く住民の皆様からのご意見をいただき、計画づくりの基礎資料とするため

2 調査の方法

- ・ 調査対象 石越地域の全世帯
- ・ 調査依頼数 1,996 件 (全 1,621 世帯、小中学生 375 名)
- ・ 有効回収数 527 件
- ・ 回収率 26%
- ・ 調査期間 9/10~9/27

3 調査の項目

- ・ 回答者のご家族に関する事項 (性別、年代)
- ・ 地域づくり計画の必要性
- ・ 暮らしについての課題や解決するためのアイディア
- ・ 自由意見

4 アンケート調査票

**『石越地区地域づくり計画』**  
アンケート調査票

石越地区地域づくり計画策定委員会

問1 ご家族の人数(性別・年代別)を該当する欄にご記入願います。

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男性							
女性							

問2 石越地区地域づくり計画を創ることをどう思いますか？該当するところを○で囲んでください。  
(1)必要と感じる (2)どちらかといえば必要 (3)必要ない (4)わからない

問3 現在の暮らしのなかで守りたいと思っていること、変えたいと思っていること、困っていること、今以上にもっと住みやすい地域にするためのご意見やアイデアなどを裏面のカードにご記入ください。

カードにご記入いただく際は、下記項目より該当すると思われるテーマの番号を  
項目No.      の欄にご記入願います。

**1 うるおい**  
自然環境の保全(自然保護の推進、動植物の保護 など)  
生活環境の向上(ゴミの減量、公園等の環境整備 など)  
自然環境の活用(自然を学べる場の創出 など)

**2 活 力**  
農業の振興(特産品の創出、ブランドカの向上 など)  
商業の活性化(商店街のにぎわい など)  
観光資源の再発見(パンフレットの整備 など)  
雇用の創出(地域資源を活かしたコミュニティビジネス など)

**3 やすらぎ**  
健康づくり(心と体の健康の推進 など)  
福祉の充実(高齢者対策、子育て支援 など)  
防災・防災意識の高揚(防災訓練の開催 など)

**4 ゆとり**  
交通安全の徹底(交通危険箇所の点検、街頭運動の実施 など)  
環境美化の推進(花いっぱい運動の推進 環境ごみルール など)  
地域行事の実施(お祭りや芸術祭、敬老会、レクリエーション大会の開催 など)

**5 ふれあい**  
教育の充実(学校行事への支援 など)  
生涯学習・スポーツの推進(地域における人材の育成 など)  
伝統文化の保護(文化財の保護や継承 など)

H25.9.27(金)締切

ご記入にあたっては、1枚のカードには、一つのご意見(アイデア)を書いてください。  
用紙が足りない場合は、石越公民館にも用意していますので皆様のご意見やアイデアをぜひお聞かせください。  
また、用紙は、コピーしたものでかまいません。

**ご意見カード**

項目No. 4

学校周辺の通学路で雑草により見通しが悪い箇所がある。

職業: 会社員  
行政区: 第0区 性別: 男 年齢: 38歳

**ご意見カード**

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

**ご意見カード**

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

**ご意見カード**

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

**ご意見カード**

項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

**ご意見カード**

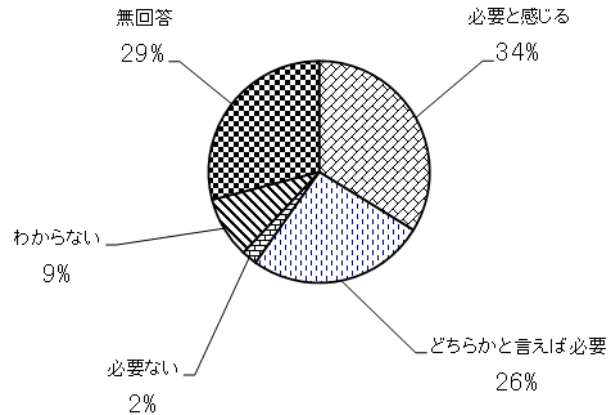
項目No. \_\_\_\_\_

職業: \_\_\_\_\_  
行政区: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 年齢: \_\_\_\_\_ 歳

## 5 回答の結果

## ◆石越地区地域づくり計画を創ることをどう思いますか？

必要と感じる	どちらかと言えば必要	必要ない	わからない	無回答	合計
178	137	12	47	153	527



## ◆テーマ別意見回答件数

うるおい	活力	やすらぎ	ゆとり	ふれあい	その他	合計
195	180	124	286	97	7	889

## 1 うるおい

自然環境の保全(自然保護の推進、動植物の保護 など)  
 生活環境の向上(ゴミの減量、公園等の環境整備 など)  
 自然環境の活用(自然を学べる場の創出 など)

## 2 活力

農業の振興(特産品の創出、ブランド力の向上 など)  
 商業の活性化(商店街のにぎわい など)  
 観光資源の再発見(パンフレットの整備 など)  
 雇用の創出(地域資源を活かしたコミュニティビジネス など)

## 3 やすらぎ

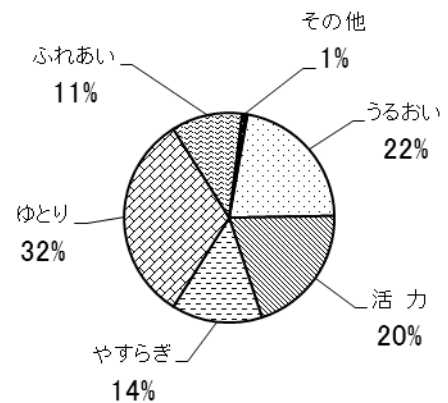
健康づくり(心と体の健康の推進 など)  
 福祉の充実(高齢者対策、子育て支援 など)  
 防災・防犯意識の高揚(防災訓練の開催 など)

## 4 ゆとり

交通安全の徹底(交通危険個所の点検、街頭運動の実施 など)  
 環境美化の推進(花いっぱい運動の推進 環境パトロール など)  
 地域行事の実施(お祭りや芸能祭、敬老会、レクリエーション大会の開催 など)

## 5 ふれあい

教育の充実(学校行事への支援 など)  
 生涯学習・スポーツの推進(地域における人材の育成 など)  
 伝統文化の保護(文化財の保護や継承 など)



◇平成 25 年 6 月 7 日（金）

石越地区地域づくり研修会を開催  
 参加した 40 名が、地域づくりについて学ぶ  
 演題『魅力あるコミュニティの在り方と役割』  
 講師 宮城大学事業構想学部事業計画学科  
 助教 鈴木 孝男 氏



◇平成 25 年 8 月 8 日（木）

石越区長会議において説明・依頼をする。

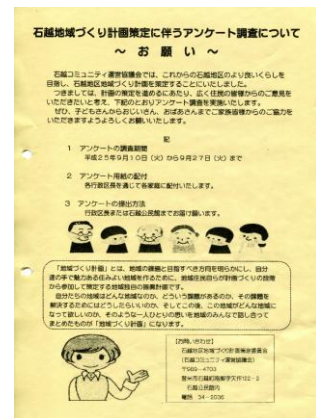
◇平成 25 年 9 月 3 日（火）

第 1 回策定委員会・第 1 回作業部会合同会議 参加者 28 名  
 スケジュール、予算、組織体制、住民アンケート調査について協議  
 特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム 理事 足立千佳子氏がアドバイザーとして就任

◇平成 25 年 9 月 10 日（火）

行政区長の協力を得て住民アンケート調査を実施

調査対象 石越地域の全世帯  
 調査依頼数 1,996 件（全 1,621 世帯、小中学生 375 名）  
 有効回収数 527 件  
 回収率 26%  
 調査期間 9/10～9/27



◇平成 25 年 10 月 24 日（木） 第 2 回作業部会 参加者 21 名

アンケートの回答について、うるおい、  
 活力、やすらぎ、ゆとり、ふれあいの  
 5 グループに分かれ分類作業を行う。



◇平成 25 年 11 月 5 日（火）第 2 回策定委員会・第 3 回作業部会合同会議 参加者 24 名



前回からのつづき、5つのグループに分かれアンケートの分類作業、細かく分類しテーマごとに模造紙に貼る作業を行う。最後に5グループの各代表が作業結果の報告をした。

◇平成 25 年 11 月 11 日（月）第 3 回策定委員会・第 4 回作業部会合同会議 参加者 25 名

ワークショップによる分類作業を行いながら、アドバイザーの足立千佳子氏より「地域づくり計画策定のいろは」について学ぶ

◇平成 25 年 11 月 20 日（水）

第 4 回策定委員会 参加者 14 名

今後の進め方やスケジュールについて協議し、共通認識を図る。



◇平成 25 年 12 月 5 日（木）第 5 回作業部会 参加者 26 名

グループワークを行い、課題の整理(集約)と地域の資源出しを行う。



## 資料② 策定作業の経過

◇平成 25 年 12 月 12 日（木） 第 5 回策定委員会 参加者 17 名

グループごとに集約化したシートを見比べ、  
同じ内容のものを整理し課題の絞り込みをする。



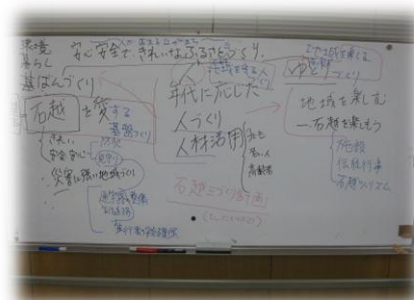
◇平成 25 年 12 月 17 日（火） 第 6 回策定委員会 参加者 16 名

テーマごとに、それぞれ検討してきた「具体的な取組み」の意見を上げる作業をした。



◇平成 26 年 1 月 21 日（火） 第 7 回策定委員会 参加者 18 名

具体的な取組みの項目の意味を確認しながら、コミュニティが取り組めるか否か一つひとつ協議した。



◇平成 26 年 2 月 12 日（水） 第 8 回策定委員会

地域づくり計画の素案について最終確認した。

参加者 16 名





◇平成 26 年 3 月 1 日 (土) 地域づくり計画発表会&「ふるさとがえり」上映会

関係者のほか、多くの住民の皆さんに、知っていただくため発表会を開催した。

また、地域づくりへの関心をより高めるため映画「ふるさとがえり」を上映した。参加者 50 名



◇平成 26 年 3 月 19 日 (水)

行政区長の協力により「石越地区地域づくり計画 概要版」を全戸へ配布し周知を行った。

石越地区地域づくり計画は、集会所・公民館・関係機関等で閲覧できるようにした。

A4 サイズ 両面印刷

(表)

(裏)

**石越地区地域づくり計画 概要版**

◇地域づくり計画の目的◇  
近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など社会環境が変化する中で、地域を取り巻く課題は複雑・多様化しています。  
このような中、私たち地域住民が主体となって地域の将来像を考え行動することで、住みよい地域を創っていくことが重要です。そこで、石越コミュニティ運営協議会では、住民と行政が同じ目標に向かって進むことを目的に「石越地区地域づくり計画策定委員会」を組織し地域づくり計画の策定に取り組みました。  
策定委員会では、多くのご意見を集めるため住民アンケートを実施し、いただいたご意見は、計画づくりの基礎資料とさせていただきます。  
石越地区地域づくり計画は、石越地区の10年後の将来像に向けた基本指針となるものです。計画では、平成26年度を初年度として5カ年（H26.4～H31.3）で取り組む方向性をまとめています。  
今後は、地域づくり計画に掲載された取り組みの中から、優先順位や重要度をさらに協議し具体的な個別計画に基づき事業展開しながら、地域の課題解決や活性化につなげていきます。

◇地域づくりの基本理念◇

1 目指す将来像  
私たちは、地域づくりを進めるにあたり、安全で安心な生活ができることが重要であり、すべての活動の源である活力を掲げ目指す将来像を次のとおりとしました。  
**安全安心で活力あるまち「いしこし」**

2 キャッチフレーズ  
私たちは、多くの人々が行き交うにぎわいを、今後の事業展開によって取り戻すことを願う次のキャッチフレーズを決定いたしました。  
**～人が集まる丘のまち「いしこし」を創ろう～**

～お問い合わせ～  
石越コミュニティ運営協議会（石越公民館内）  
〒989-4703  
宮城県登米市石越町南藤字矢作 122-2  
TEL (0223) 041-2039

◇地域づくり計画（3づくり計画書）の体系図◇

目指す将来像 **安全安心で活力あるまち「いしこし」**

まずは いしこしを守る『人づくり』

方向性：子どもたちと交流しよう  
【活動例】・体験活動の充実・石越地区市民体育祭への小学生の参加・高齢者との交流・小学生スポーツ大会への支援・小学生発達のフットゴルフ大会

方向性：若い手をつなごう  
【活動例】・婚活の支援・世代間交流事業の実施・青年活動の充実・多様な人材の発掘

方向性：高齢者の生きがいをつくろう  
【活動例】・敬老会の開催方法を検討・見守りや宅配弁当の実施・言葉遊びや音楽の講座・集会所でのミニツアーバス・ボランティアの募集と活用

つぎに いしこしを愛する『環境づくり』

方向性：マナーアップでゴミをなくしてきれいなまちにしよう  
【活動例】・衛生リーダー活動の充実・不用品のフリーマーケット・イベント（秋の葉の拾い等）、リサイクルごみ、野焼きのルール徹底・運動会等のゴミ集積場の確保

方向性：①雑草をなくして安全な道路にしよう  
②魅力ある里山をつくろう  
【活動例】・日本型直接支払制度（田舎地・水保管理支払交付金）の全町実施への推進・除草コースづくりと整備・土手や遊歩道の刈払いの実施・イベント（秋の葉の拾い等）、リサイクルごみ、野焼きのルール徹底・フロンティアアスレチックの検討・森林資源の地産づくり

そして いしこしを楽しむ『ゆとりづくり』

方向性：チャチャワールドや公園で楽しもう  
【活動例】・桜やあじさいの鑑賞づくり・道具等の施設点検・グリーンフェスティバルの開催・公園等の地産づくり・高齢者活動の実施、ゴミの処理・ボランティアの募集（課題）

方向性：お祭りや伝統文化を盛り上げよう  
【活動例】・盆踊り大会の実施・住民参加型のお祭り・冬の花火の観賞会・交歓会内展示の改善・交歓会の地産づくり・地域の宝探し・伝統文化の記録化・若者層の活用

用語解説 ①山崩・森林などの自然災害防止、途中に遊具を置いておくなどコースで行う野外活動の一種  
②緑豊かな農村環境において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型体験活動

## 地域づくり計画策定に係るスケジュール

## ○研修会等

月日	会 場	内 容	目 的	備 考
6月7日	石越総合支所	石越地区地域づくり研修会 「魅力あるコミュニティの在り 方と役割」 宮城大学事業構想学部 助教 鈴木 孝男氏	・地域づくりについて、広く知 ってもらうため	
8月5日	石越公民館	第6回理事会	・地域づくり計画策定の経緯 ・アドバイザーへ依頼	アドバイザー①
8月8日	石越総合支所	行政区長への説明・依頼	・地域づくり計画への理解 ・アンケート調査の依頼	

## ○会議等

月日	会 場	策定委員会	作業部会	備 考
9月3日	石越公民館	第1回策定委員会【合同】	第1回作業部会【合同】	アドバイザー②
9月10日	石越公民館	行政区長へのアンケート調査の配布依頼		
9月27日	石越公民館	アンケートの取りまとめ		
10月24日	石越公民館		第2回作業部会 【グループワーク】	アドバイザー③
11月5日	石越公民館	第2回策定委員会 【合同・ワークショップ】	第3回作業部会 【合同・ワークショップ】	アドバイザー④
11月11日	石越公民館	第3回策定委員会 【合同・ワークショップ】	第4回作業部会 【合同・ワークショップ】	アドバイザー⑤
11月20日	石越公民館	第4回策定委員会		
12月5日	石越公民館		第5回作業部会 【グループワーク】	
12月12日	石越公民館	第5回策定委員会		アドバイザー⑥
12月17日	石越公民館	第6回策定委員会		アドバイザー⑦
1月21日	石越公民館	第7回策定委員会		アドバイザー⑧
2月12日	石越公民館	第8回策定委員会 (最終確認)		アドバイザー⑨
3月1日	石越公民館	地域づくり計画発表会&映画「ふるさとがえり」上映会		
3月19日	石越公民館	地域づくり計画（概要版）の全戸配付		

## 石越地区地域づくり計画策定委員会

委員長 鈴木 亮

副委員長 佐々木 敬次 小野寺 和夫

委員 佐々木 圭一 千葉 辰雄 佐川 修 菅原 健一 工藤 初夫  
 熊谷 忠介 千葉 文敏 千葉 義信 千葉 善文 千葉 静徳  
 佐々木 善哉 金 輝彦 工藤 正文 佐藤 進 金澤 いく子  
 計 18名

## 石越地区地域づくり計画作業部会

佐々木 圭一 千葉 辰雄 佐川 修 菅原 健一 工藤 初夫  
 熊谷 忠介 千葉 文敏 千葉 義信 千葉 善文 千葉 静徳  
 佐々木 善哉 金 輝彦 工藤 正文 佐藤 進 金澤 いく子  
 松浦 耕治 佐藤 謙一 佐藤 健美 菅原 勉 高橋 弘子  
 小野寺 久光 熊谷 政喜 小野寺 康彦 小野寺 和夫 鈴木 昭男  
 金 正男 熊谷 和夫 佐々木 敬次 池田 幸哉 宍戸 秀憲  
 阿部 雅昭 工藤 貞夫 鈴木 富司雄 鈴木 亮 菅原 晃  
 工藤 利夫 高橋 一成 五十川 英雄 千葉 妙子  
 計 39名（順不同、敬称略）

## アドバイザー

特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム 理事 足立 千佳子 氏

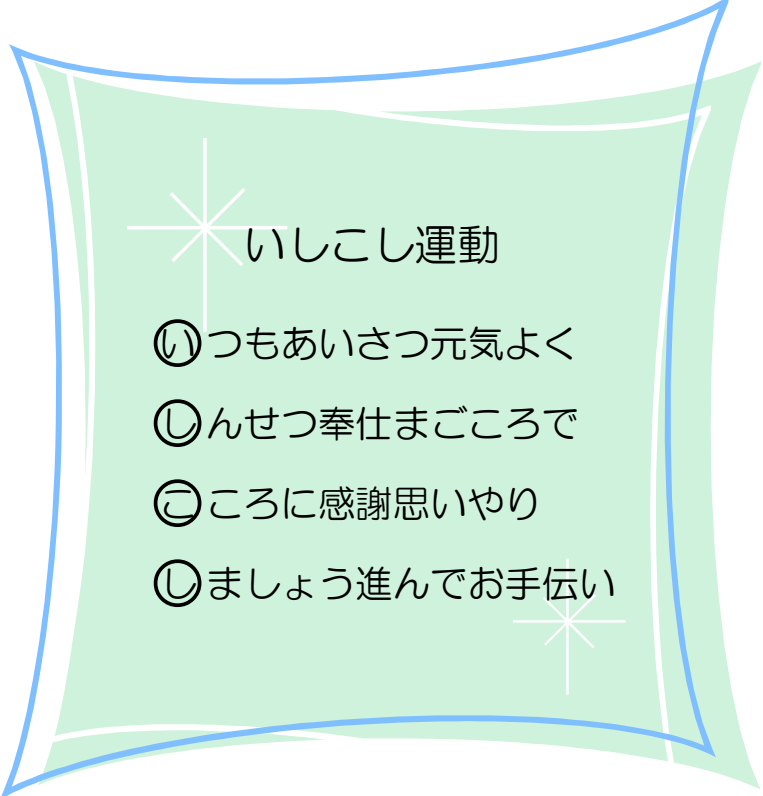
## 事務局

公民館長 稲辺 武一


事務員 阿部 麻紀 千葉 真代

## (策定支援チーム)

石越総合支所・石越教育事務所 千葉 教博 石越教育事務所 臨時職員 粕谷 義昭  
 企画部市民活動支援課 星名 輝紀



いしこし運動

- ① つもあいさつ元気よく
  - ② んせつ奉仕まごころで
  - ③ ころに感謝思いやり
  - ④ ましょう進んでお手伝い
- 

## 石越コミュニティ運営協議会

(石越地区地域づくり計画策定委員会)

【事務所】

〒989-4703

宮城県登米市石越町南郷字矢作122-2

石越公民館内

TEL : 0228 (34) 2036

FAX : 0228 (34) 3193

E-mail : [ishikomi35@aj.wakwak.com](mailto:ishikomi35@aj.wakwak.com)